

M-ND-50 無尾翼機 制作説明書

上級者向け

飛行重量 95 g 翼長730mm 全長420mm

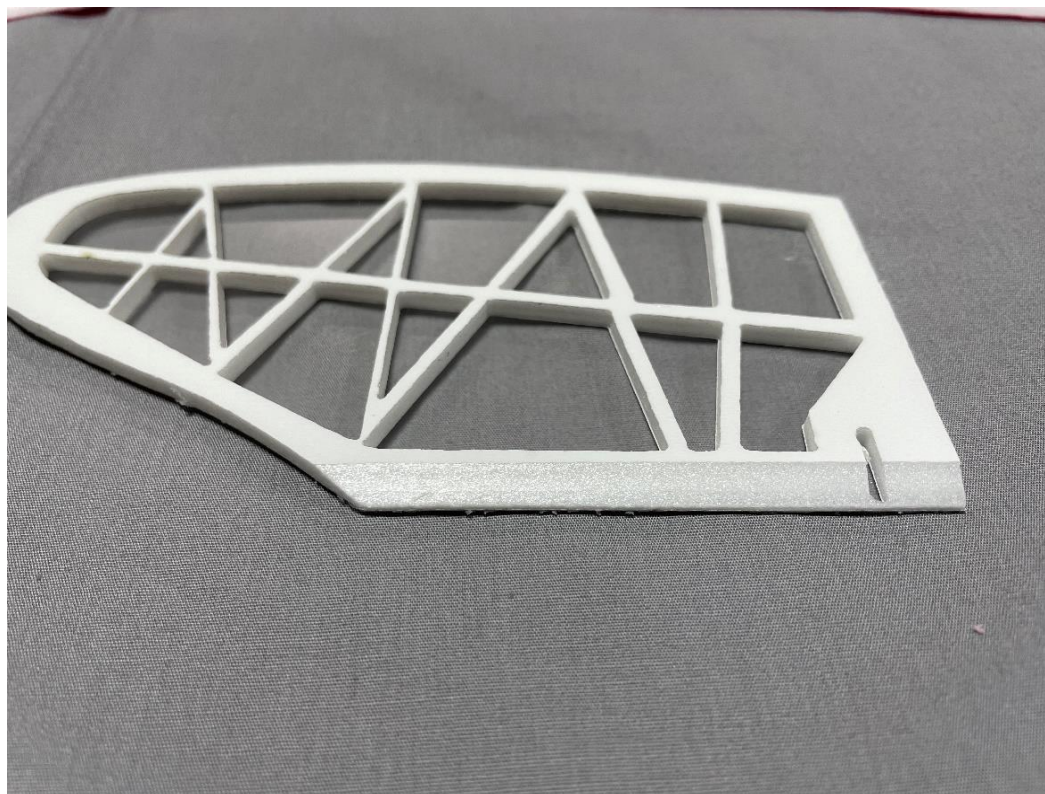
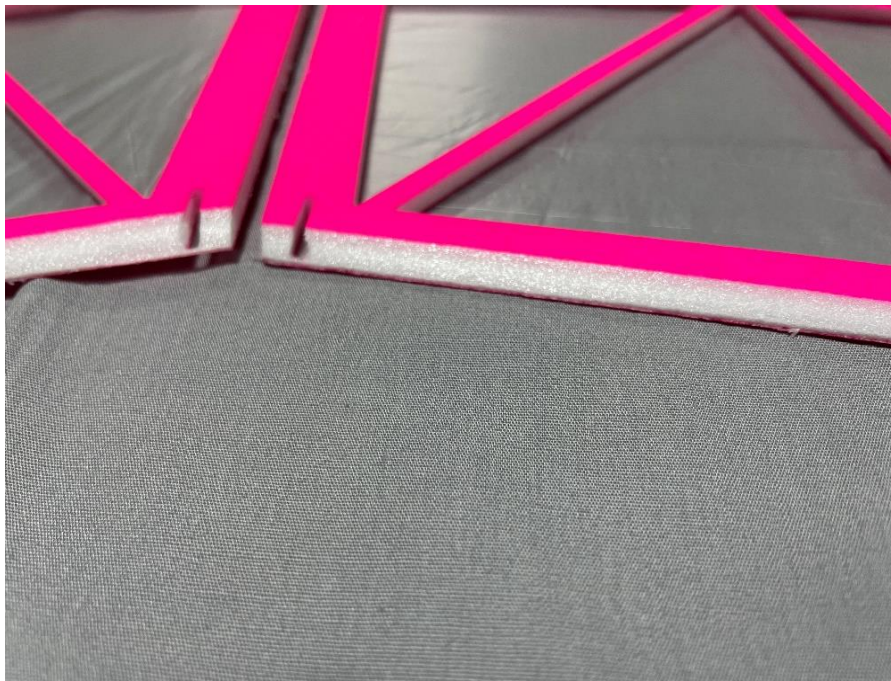


キット詳細

フィルム貼り済キット	本体	一式
タイヤ		2個
モーターマウント		1個
動翼ホーン		4個
リンケージ用0.7mmピアノ線		1本
補強及びリンケージ用カーボンロッド		必要数

注意 説明写真の色と実際のキットの色とは異なります
ご理解下さいませ

1 動翼パーツを斜めにカットする



下記のように可動部を斜めにカットします
*手を切らないように気を付けて

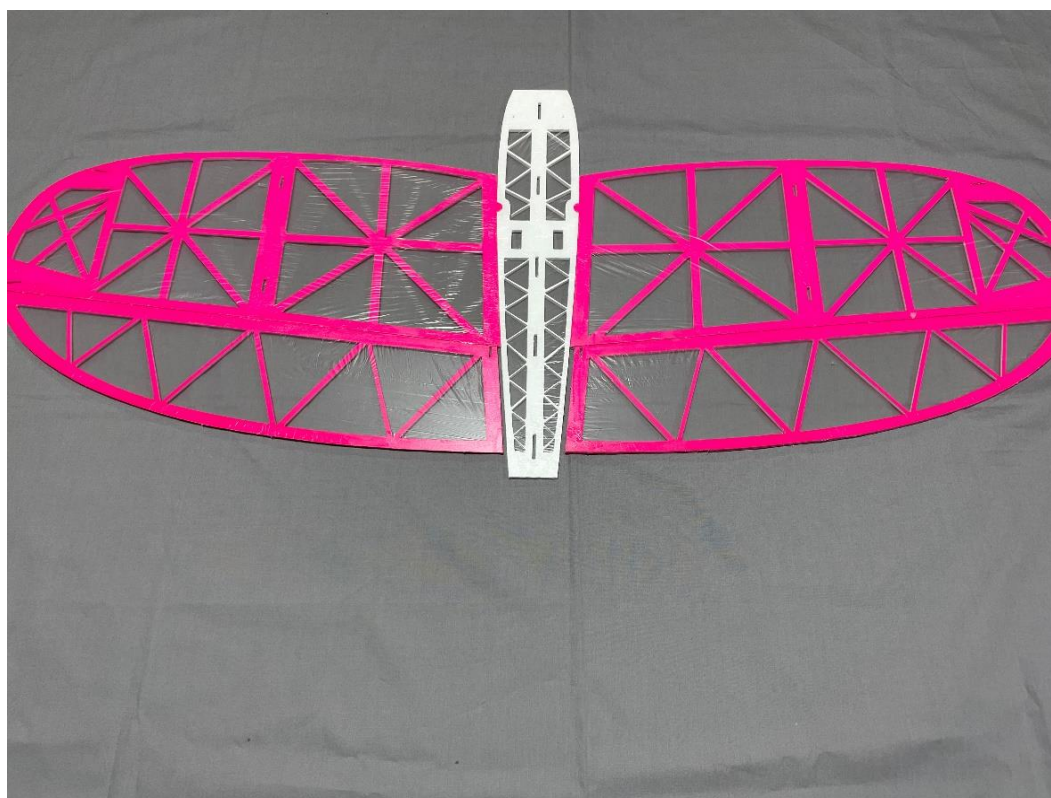


2 基本平らなテーブルで作業します

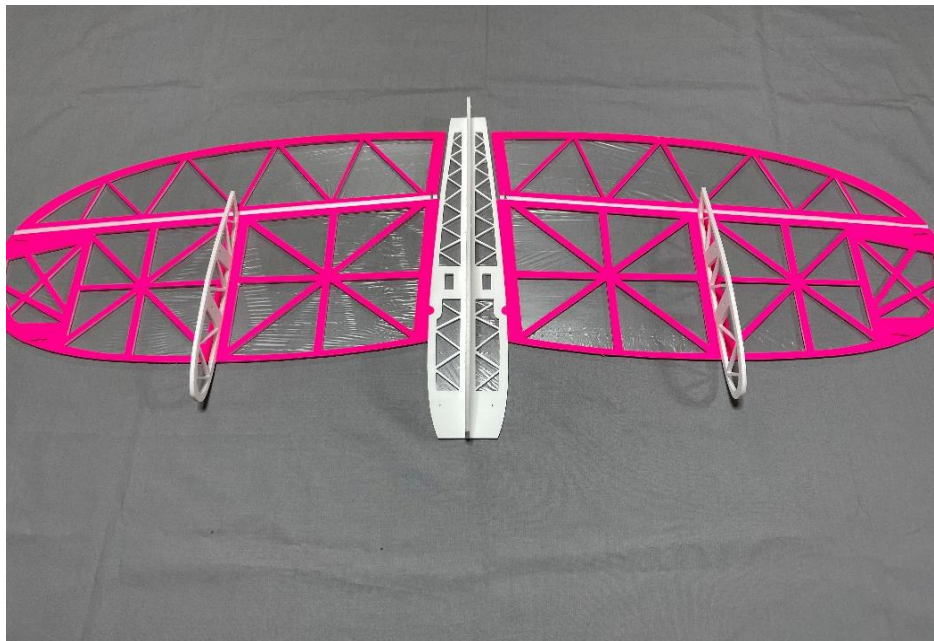
フィルムを貼っていない面が上です

写真のように組み合わせてホットボンド又はセロテープで
接着します（セロテープの場合は両面貼り）

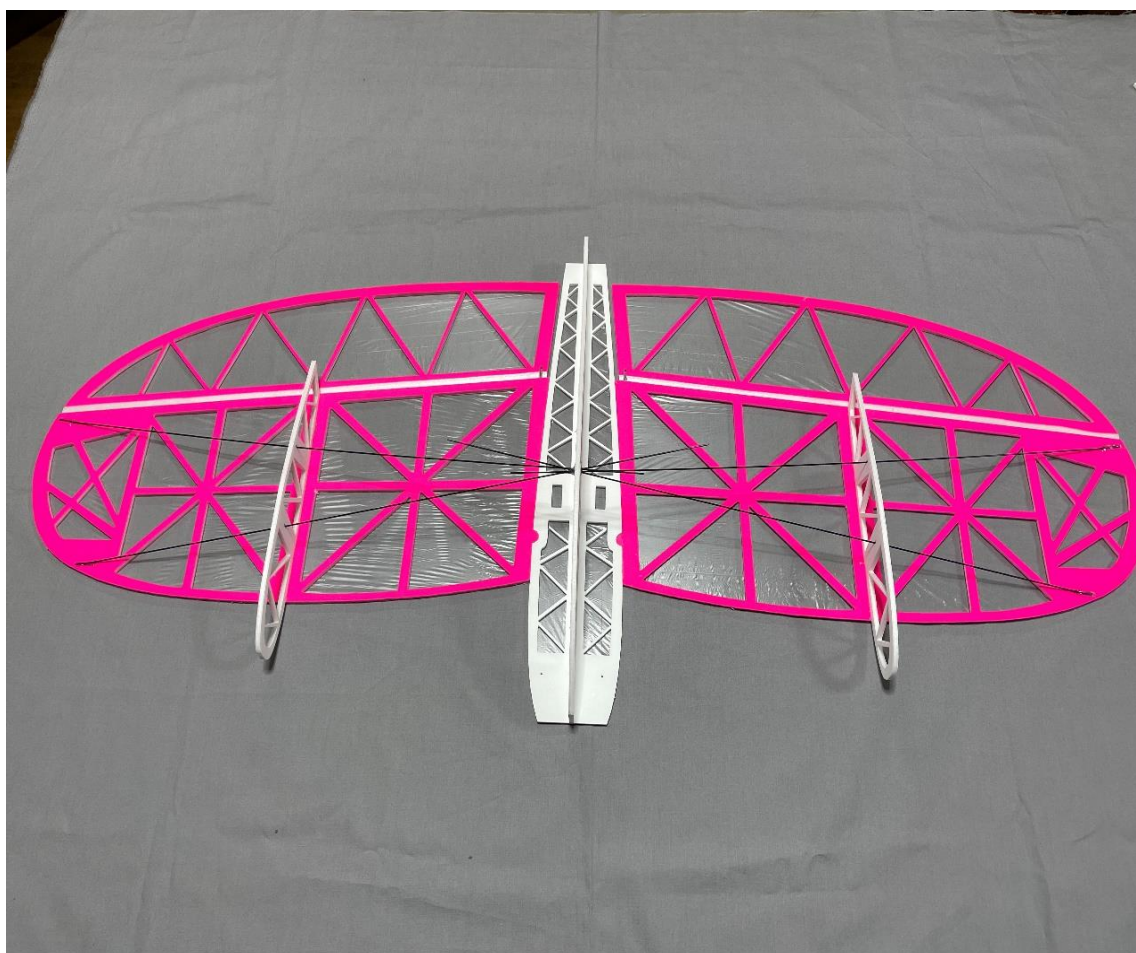
エルロンは上面（フィルムを貼っている面）にセロテープ
を貼り、ヒンジとします



- 3 胴体下とカーボン支え板をホットボンドで接着します
(発砲ボンドは完全に乾くのに数日掛かります)
エルロンはこの段階で取り付けておきます



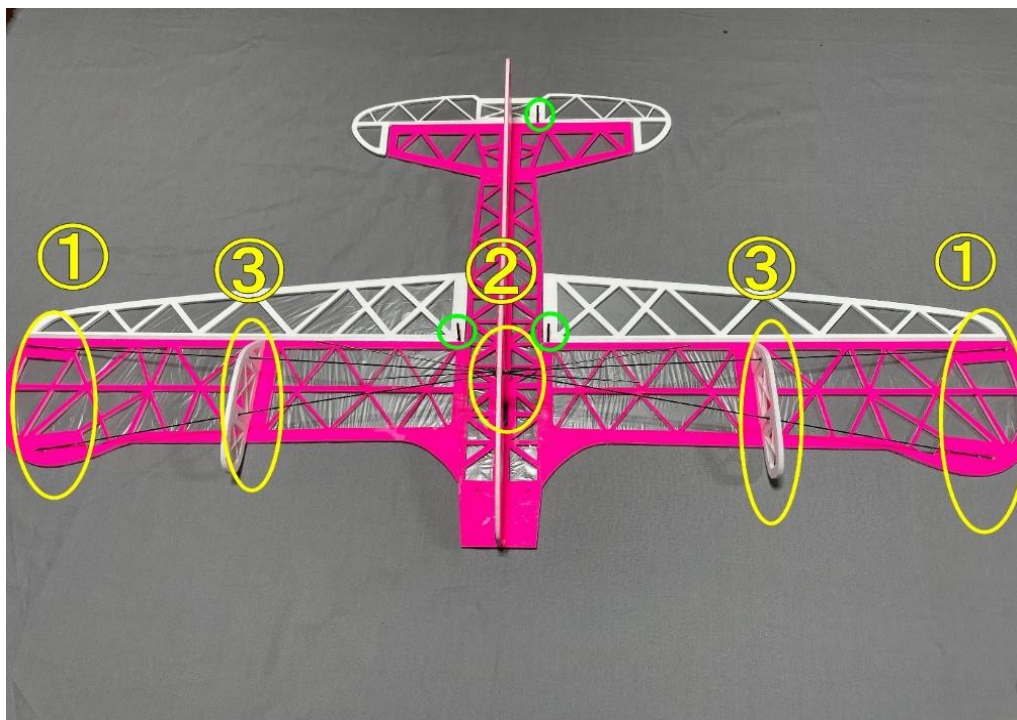
- 4 カーボン補強をします
(ホットボンド又は瞬間で)



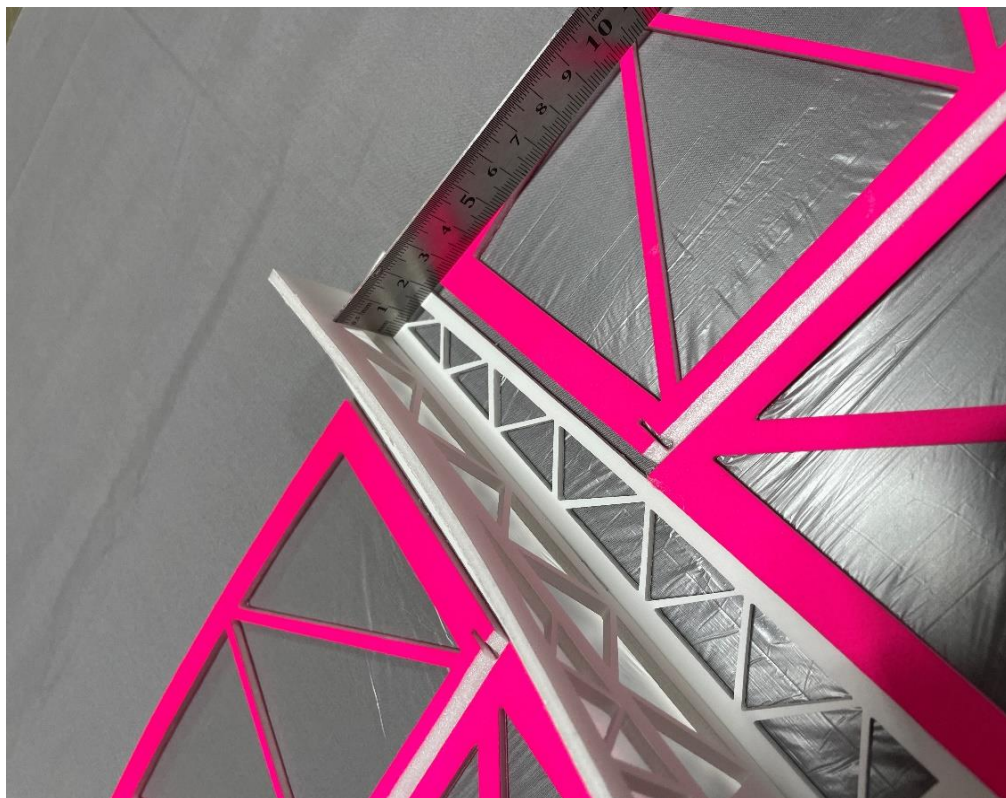


下の写真は別機の参考写真です① ② ③の番号順に接着して下さい
(ホットボンドが良いです。発砲用接着剤だと完全に乾くのに
数日要します)

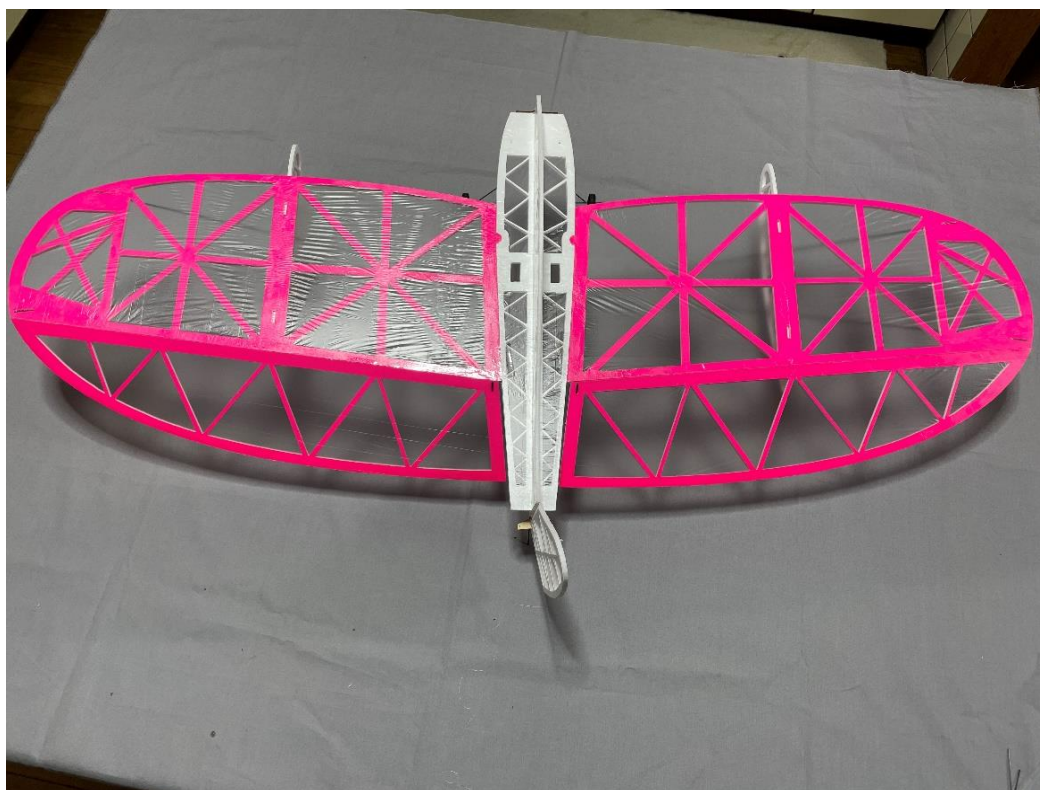
*翼にねじれが無いように注意して下さい



直角に注意して下さい

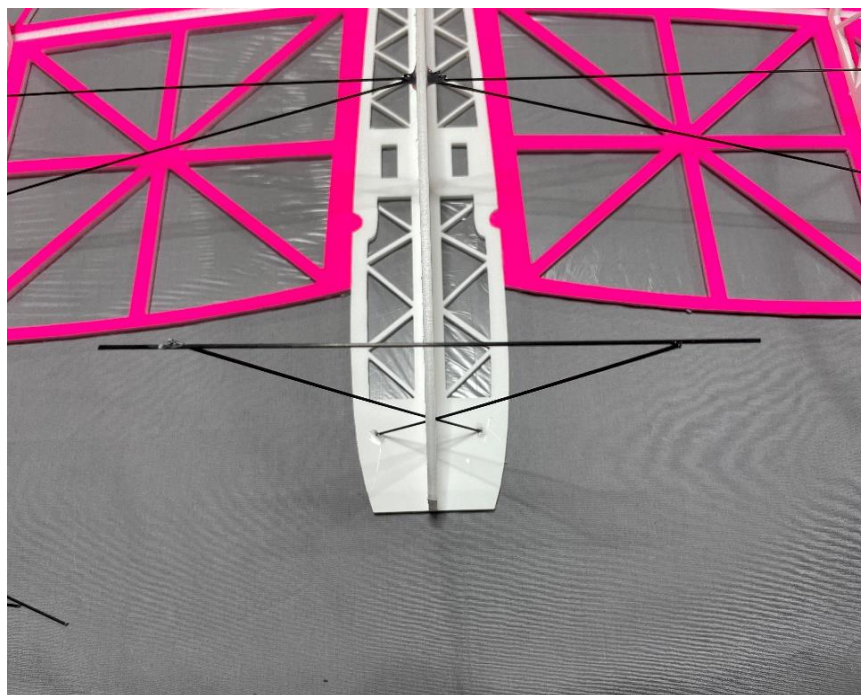


5 胴体上とラダーを取り付けて生地完成です

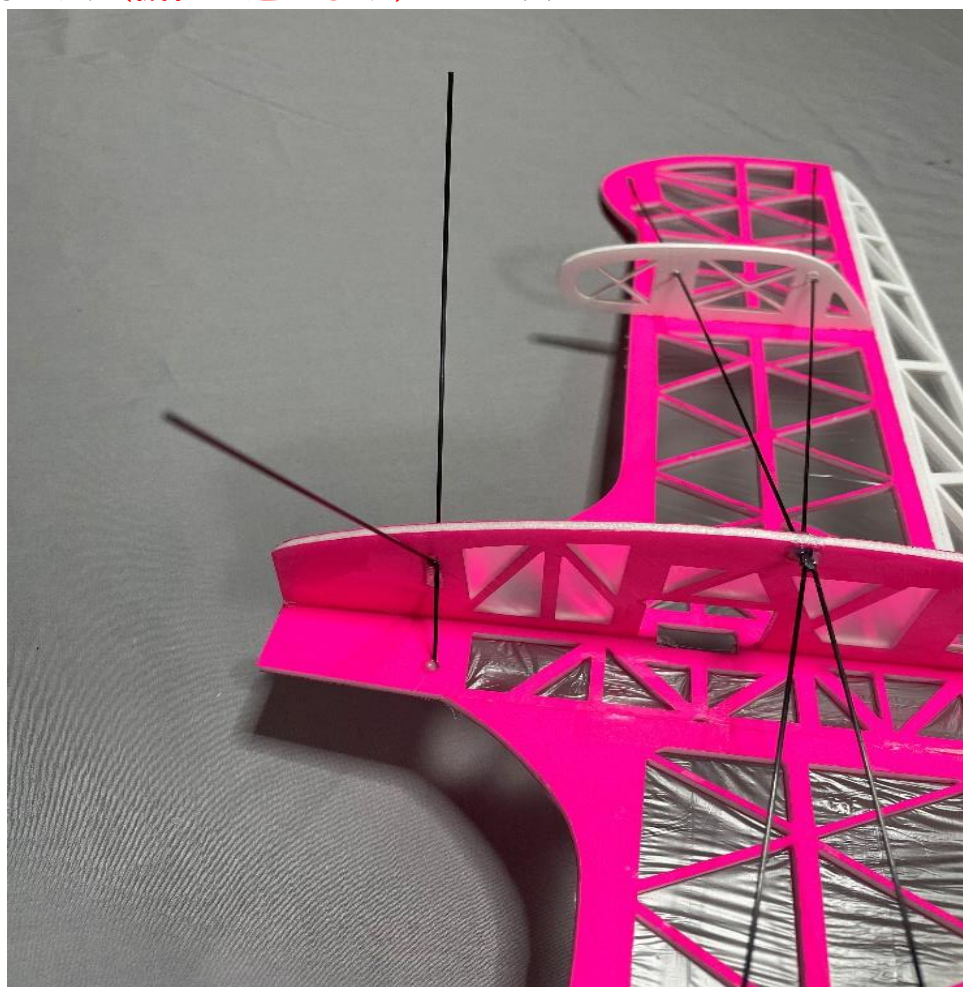


6 脚部

カーボンロッド 15cm2本と18cm1本を切って下さい

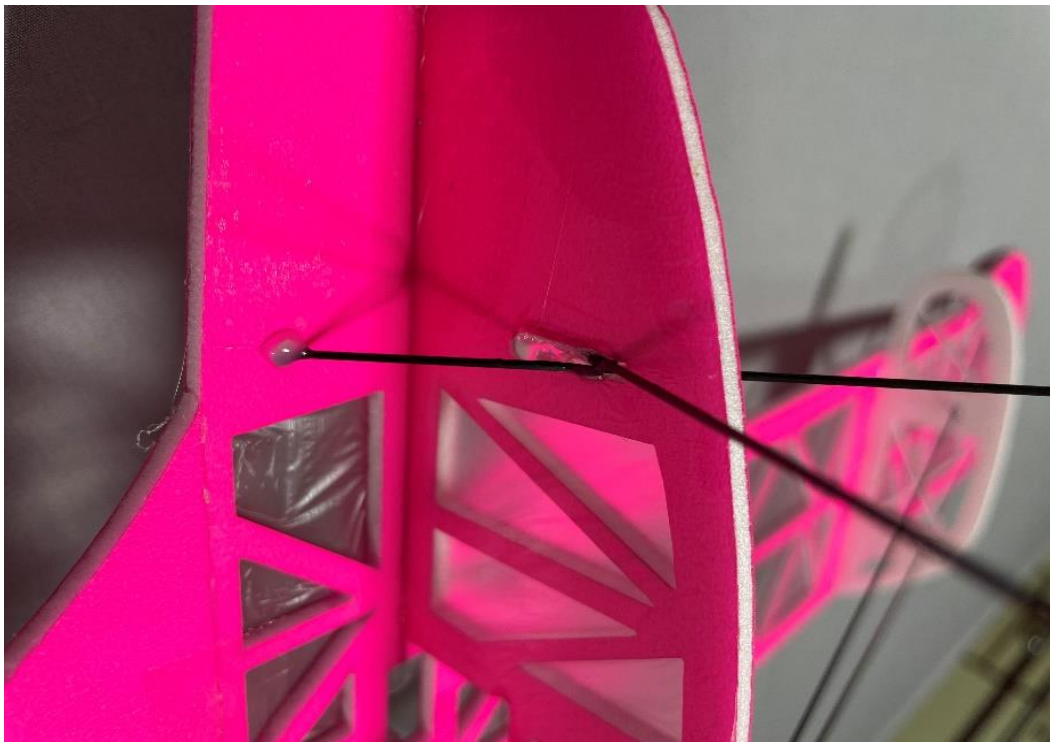


参考写真（機種は違います）をご確認ください

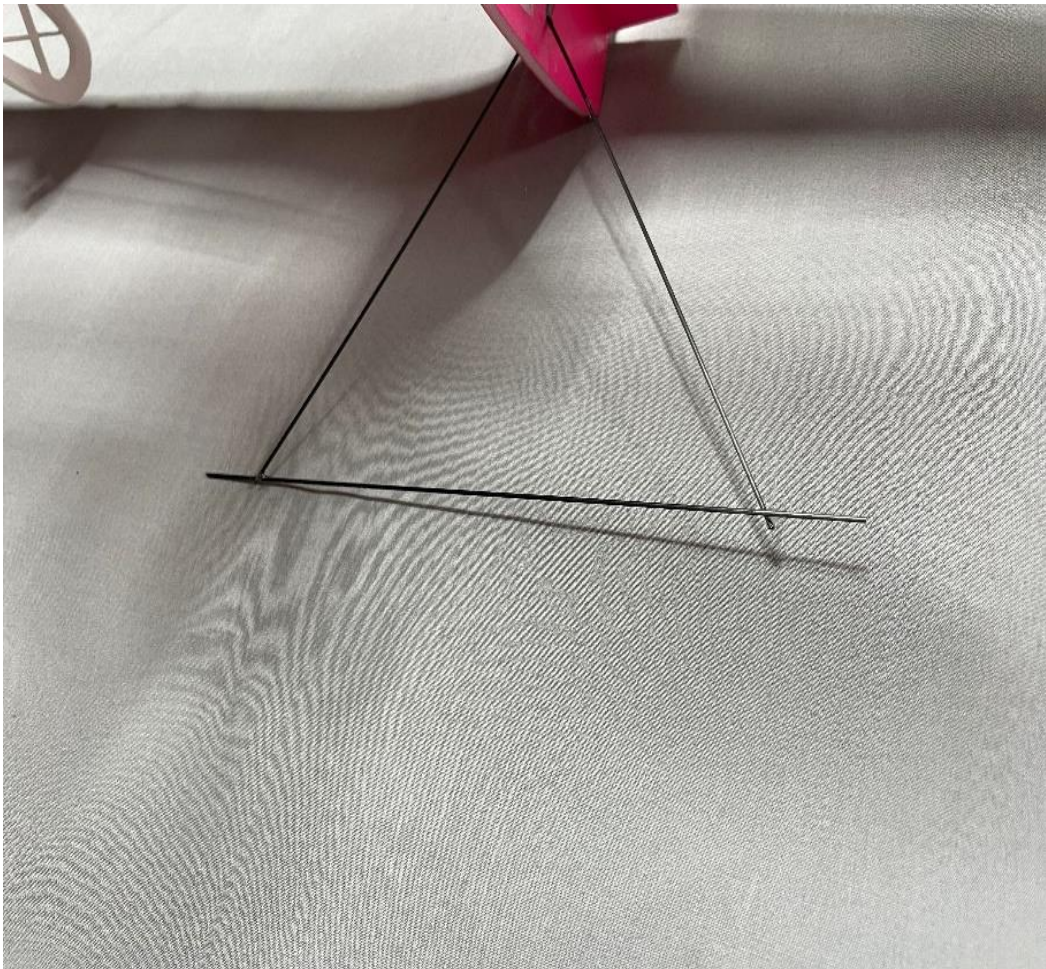




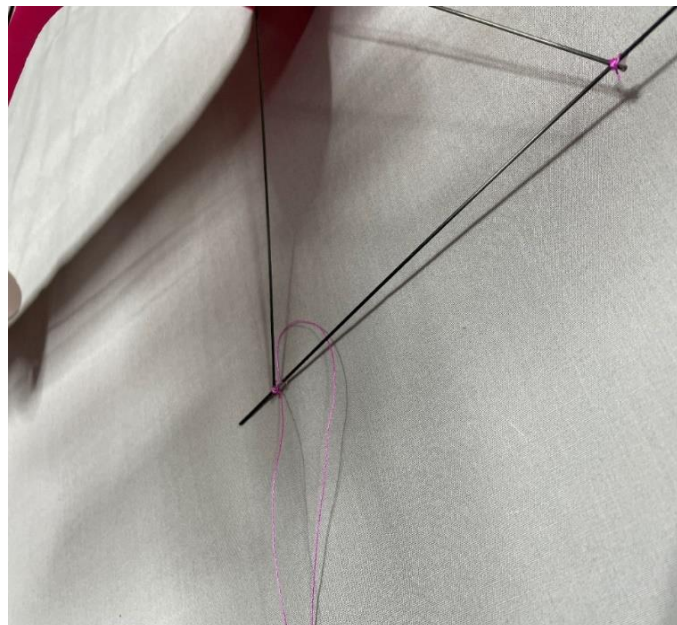
ホットボンドで接着しています



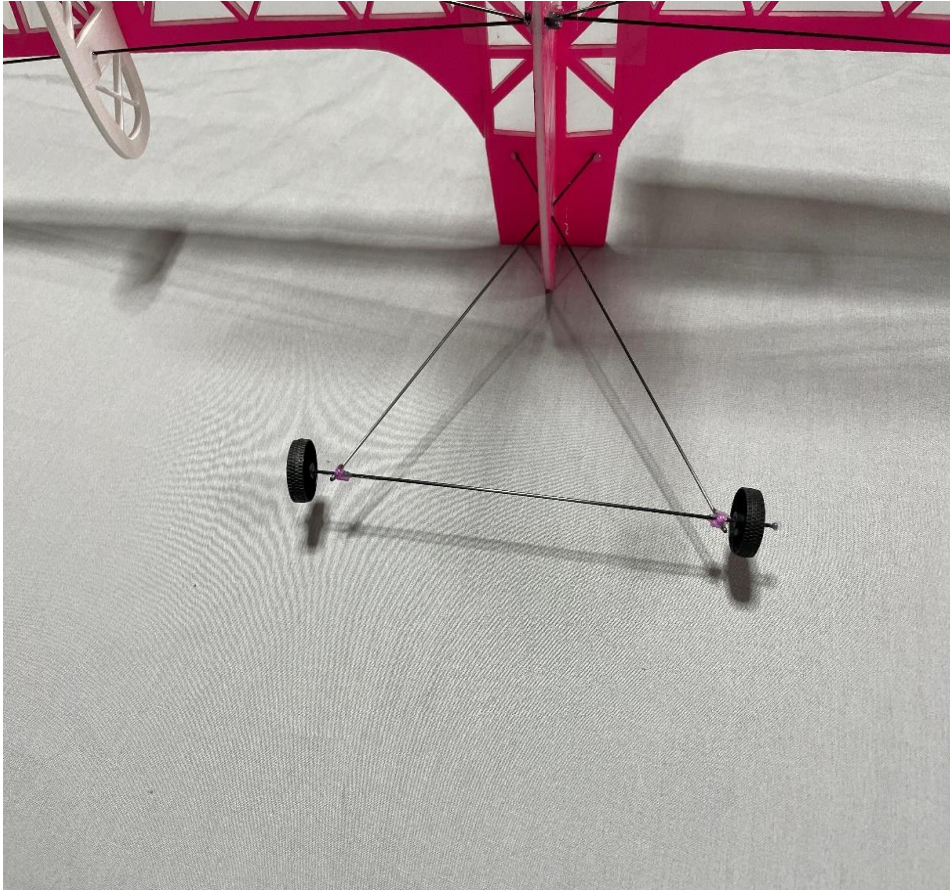
脚部横棒部は一旦瞬間で仮止めした方が進めやすいです



着陸時に外れやすいので糸での補強をお勧めします
仮止めの後糸などで縛りその上から瞬間を流して固定します



タイヤの抜け止めは瞬間団子またはホットボンド団子でOK



生地完成です、引き続きメカ搭載リンクージです

メカ搭載編

モーター 1811-KV3800 (10 g)

アンプ 10 A クラス

サーボ エルロンは3.5 g クラストルク0.5 k 以上のもの
エレベーター・ラダーは2 g クラストルク0.2 k 以上

プロペラ 5030~6030クラス

バッテリー 200mA 7.4 v ~ 300mA 7.4 v リポ

メカ搭載につきましては写真を参考にお願いします

モーター・アンプ・受信機はグラストープで止めています

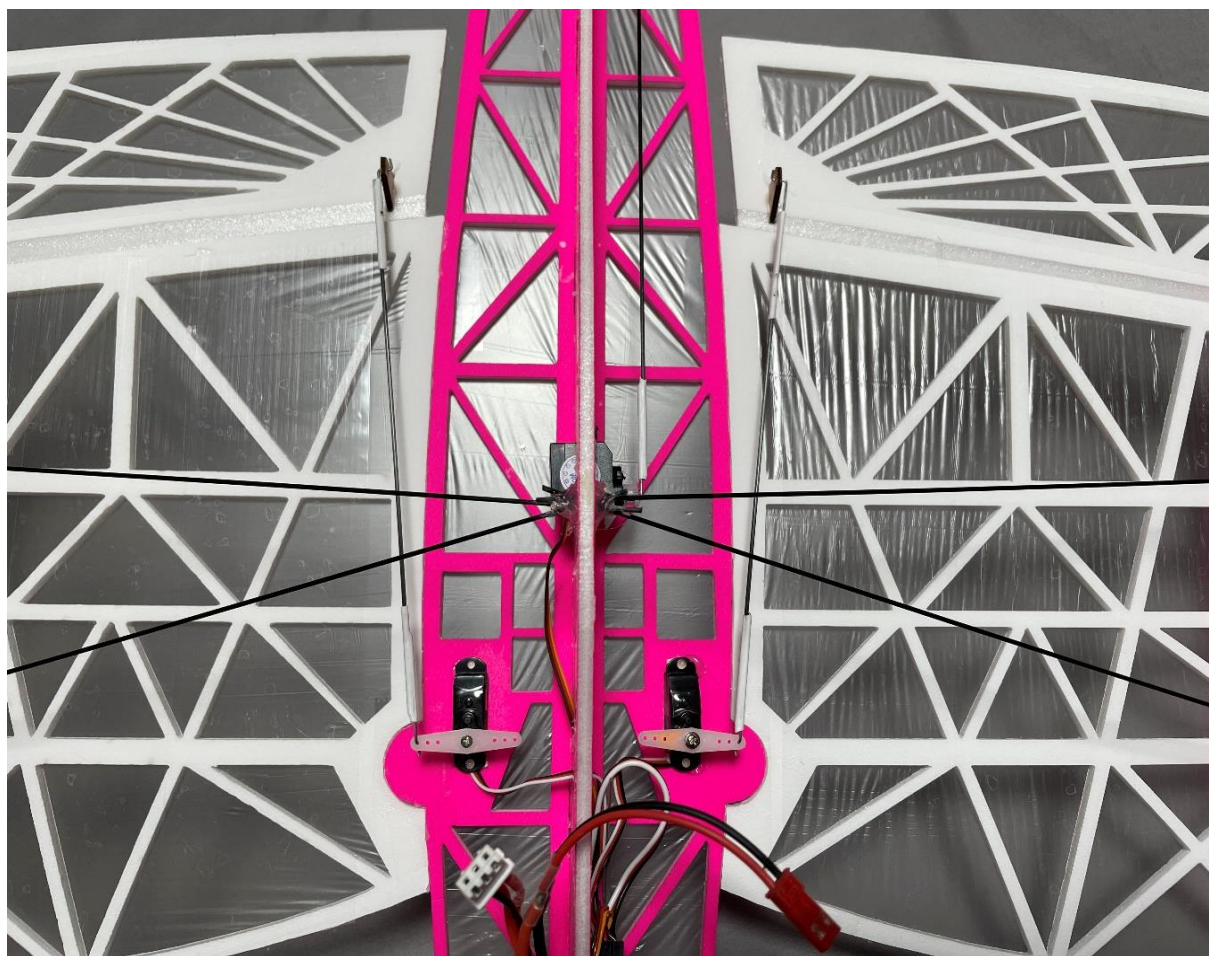
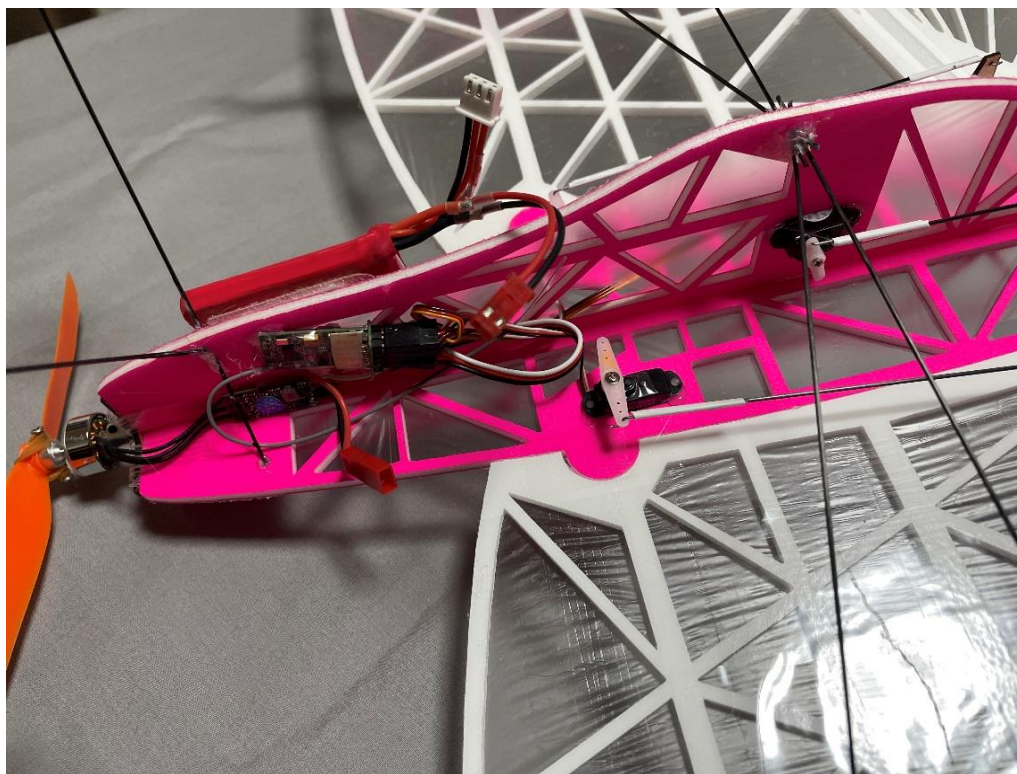
サーボはホットボンドで止めています

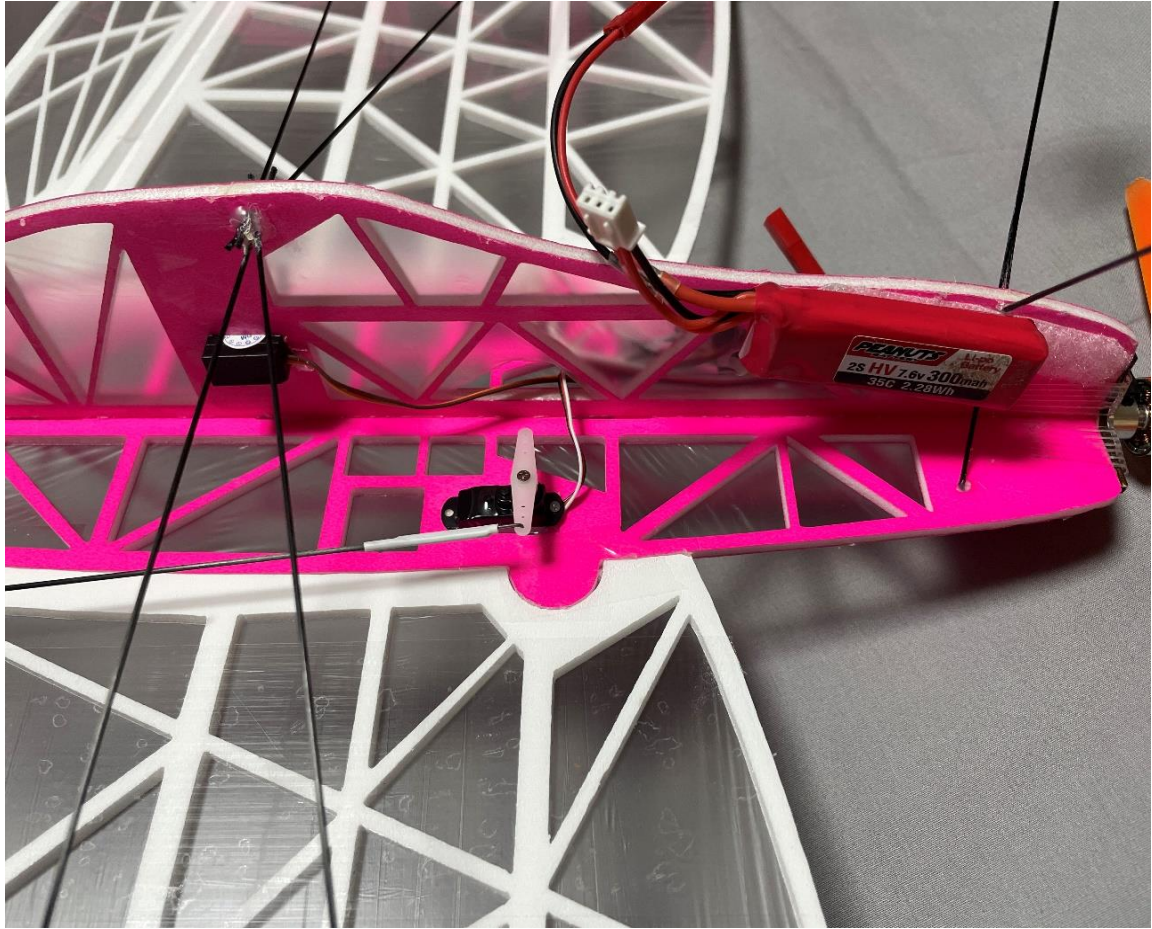
エルロンリンクージは付属の0.7mmピアノ線で施工します

中間で収縮チューブで繋ぐと調整しやすいです

エレベーターとラダーは1mmカーボンロッドと0.7mmピアノ線を収縮チューブで繋ぎます

メカ搭載参考写真です





重心は前（モーターからではなくモーターマウントから測って下さい）

11cmが基準です（5mmずらすと大きく変わります）

後ろ過ぎるとエルロンが利きませんし前過ぎると着陸時に
頭から突っ込みます

無尾翼機は特に重心位置が大事です

慎重に重心位置を決めて下さい

操縦者の好みによっても重心位置は変わります

エルロンとラダーは大きく動かしても良いですが

エレベーターは控えめでテスト飛行をして下さい

それではスロー飛行をお楽しみくださいませ